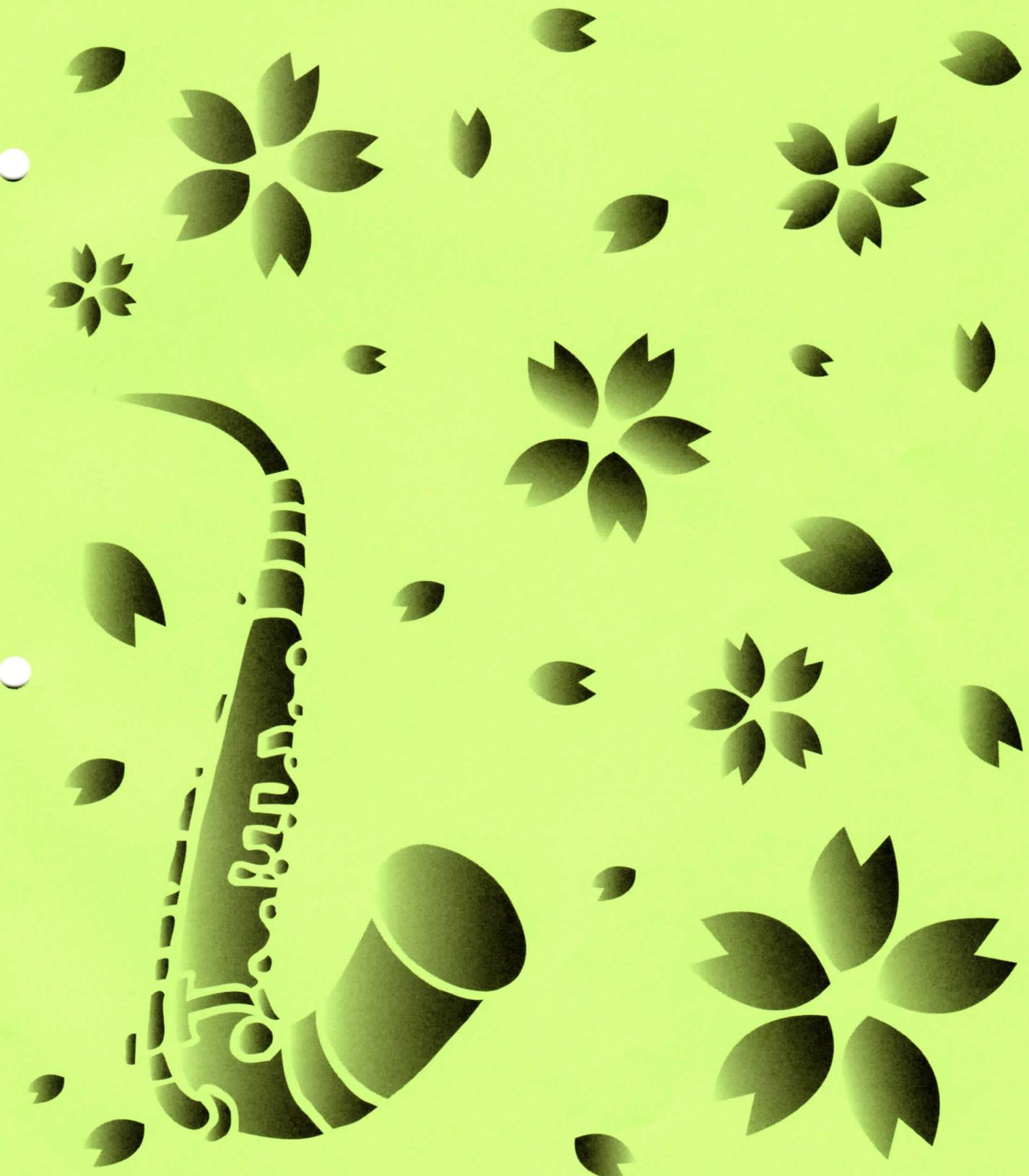


栃木県吹奏楽連盟<季刊>広報誌 2012年3月号

# 吹奏太郎





## 目 次

★ 理事長 卷頭言 「東日本大震災と福島原発事故への義援金について」	1
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男	
★ 1. 第12回栃木県吹奏楽ソロコンテスト参加者の感想	3
平成24年1月29日（日）実施	
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：芳賀町民会館	
★ 2. 第10回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト参加者の感想	3
平成24年2月26日（日）実施	
主催：公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部	
会場：東京音楽大学Jスタジオ	
★ 3. 栃木県吹奏楽講習会報告・参加者の感想	4
平成24年2月10日（土）11日（日）実施	
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：宇都宮市文化会館	
★ 4. 栃木県吹奏楽連盟事務局の皆さんありがとう	8
いつも何かと連盟のお膳立てをしてくれている	
事務局に感謝の意味をこめて・・・	
★ 5. コンサート情報	
栃木県吹奏楽連盟加盟団体から広報部に寄せられたコンサートの情報です	
★ 編集後記	
栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之（作新学院高校）	



# 理事長 卷頭言



## 「東日本大震災と福島原発事故への義援金について」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

平成23年度が終わるにあたり、栃木県吹奏楽連盟に対し、吹奏楽に携わる皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。

東日本大震災とその津波による福島原発事故の被災から一年が経過しました。平成23年3月11日、多くの工場が被害に遭い、経済がストップし、福島原発周辺の住民は拡散した放射性物質から逃れるため避難を余儀なくされるなど絶望の淵に立たされました。また、すべての文化活動が停滞を余儀なくされ、甚大な損失を被りました。

しかし、この一年で日本全体が徐々に悲しみを乗り越え、復旧復興に向かって人と人との絆が大きく深まつたことと思います。

そんな中、辛い日々を送っている人たちに音楽の魅力で癒しの力を発揮されている方々がたくさんおられたことに感銘を受けたことでしょう。

私ども栃木県吹奏楽連盟も管楽器を奏でる者として、大変な境遇に立たされた吹奏楽の仲間に、微力でありますが、みんなの力で手助けの出来る義援金の募金を5月3日に開催した「音楽でつくる支援の輪～音楽の輪」コンサートを皮切りに各種大会で行いました。

その義援金を下記のように福島県吹奏楽連盟に送金したことをご報告するとともに、皆様のご協力に対して、心から感謝申し上げます。

### 義援金の送付について

福島県吹奏楽連盟理事長 根本直人様

この度の東日本大震災と福島原発の甚大な被害に遭われ、日々ご苦労なされていることと思います。

私ども栃木県吹奏楽連盟は微力ながらですが、何らかのお手伝いをさせていただきたいと思い、栃木県吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト等に於いて、参加された吹奏楽部員や吹奏楽愛好者に義援金の呼びかけをいたしました。

会場の皆さんに「今日一日、ジュース一本飲むことを我慢して水道水を飲み、義援金にご協力をお願いします。」と呼びかけましたところ、多くの人たちが賛同してくださいました。

些少ではありますが、送金させていただきましたので、福島県吹奏楽連盟で吹奏楽の諸行事等に役立てていただければ幸いに存じます。

今度の福島県吹奏楽コンクール等に全加盟団体が参加できることと、一日でも早い復旧復興を心よりお祈りいたします。

義援金額 275,132円

平成24年2月13日

栃木県吹奏楽連盟 代表  
理事長 石塚 武男

24福吹連第19号  
平成24年2月14日

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男様

福島県吹奏楽連盟理事長 根本直人



### 東日本大震災と福島原発に係る義援金の御礼について

この度は、栃木県吹奏楽連盟をはじめ、加盟団体の皆様や吹奏楽愛好者の皆様から、心温まる多額の義援金をお贈りいただきまして、誠にありがとうございました。

3月11日に発生した東日本大震災により、県内は地震、津波により甚大な被害を受けただけでなく、東京電力福島第一原子力発電所の原子力災害が、今も進行していますが、この未曾有の大災害の中でも、福島県吹奏楽連盟の加盟団体は懸命に活動を続けております。

しかし、警戒区域及び計画的避難区域の加盟団体は、未だに活動再開までには至っておりませんが、全国の皆様から頂いた多額の義援金の残金については、東京電力福島第一原子力発電所から20km圏内の警戒区域（南相馬市小高区、大熊町、双葉町、富岡町、浪江町）や、20km圏外の計画的避難区域内（飯館村）の加盟団体の活動支援をはじめ、被災された加盟団体の活動支援のために、今後十数年かけて大事に使わせていただきます。

事務局 〒969-1617 福島県伊達郡桑折町字陣屋4番地の1  
福島県吹奏楽連盟 事務局長 渡辺美昭  
TEL 090-5234-1580 FAX 024-582-1240  
E-mail:watanabe-fba@pop06.odn.ne.jp

また、栃木県吹奏楽連盟は昨年6月、栃木県吹奏楽連盟として義援金30万円を全日本吹奏楽連盟に送り、全国からの義援金の総額7000万円を岩手県、宮城県、福島県の各吹奏楽連盟に配分していただきました。

その他、本県ではすでに予定されていた演奏会の際に募金箱を設置して、義援金をお願いしたり、義援金を目的とした音楽の集いや各吹奏楽部、一般バンドの演奏会等が新たに数多く開催され、その場において義援金を募り、各々が送金していただいたことに吹奏楽の力の素晴らしさをいつそう感じております。

今後も、東北三県の吹奏楽愛好家、吹奏楽の仲間が連盟行事等に参加できるように、手助けの義援金活動を行いたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。



## 第12回栃木県吹奏楽ソロコンテストの参加者の感想

### 「ソロコンテストに参加して」

茂木小学校吹奏楽部 5年 檜山 沙南(トランペット)

私は、母から勧められてソロコンテストに出場しました。今回出場してみて、いろいろなことが勉強できたと思います。前日、学校でピアノ伴奏の中田さんと合わせたときは、高い音が出なかつたり、入るのが遅れたりとボロボロでした。そして当日。先生からは、「レベルが高いから、今年は度胸試しのつもりでリラックスするように。」と言われました。ステージに上がるときも、緊張で足がガタガタ震えていました。演奏しているときも何の音を吹いているのか分かりませんでした。それほど、緊張したことは今までありませんでした。

発表のとき、「金賞。」と聞いて耳を疑ってしまいました。しかも、グランプリとは…。ソロコンテストに向けて練習してきたことは、いろいろと学ぶことがあったと思います。今まで頑張って練習してよかったと思いました。来年もまた頑張りたいです。

### 「第12回栃木県吹奏楽ソロコンテストに参加して」

日光市立今市中学校 3年 青木 美凡(コルネット)

私は、小学校3年生からコルネットを始め、ソロコンテストにも挑戦してきました。高学年になると好成績を残すこともできるようになり、ますますやる気になっていきました。

しかし、中学生になるとレヴェルが高くて私の演奏では全く歯が立ちませんでした。私は悩みました。どうしたら良い結果が出せるのだろうか？どうしたら審査員に自分の演奏を認めてもらえるのだろうか？私はそんなことばかり考えていました。

でも、毎日楽器の練習に明け暮れ、様々なことを学んでいるうちに私はやっと気付きました。結果ばかりを気にしていた私の演奏には、少しも心が入っていないことを…。グランプリを取ることばかりを考えていたから、心に響く演奏にはならなかったんだ…。

そして迎えた最後のソロコンテスト。これまでの私とは違います。今まで練習してきたことを出し切り、会場の皆さん的心に残る演奏をすることだけを考えて吹きました。

結果はグランプリ。その後の関東甲信越大会でも、同じように演奏することができました。

もちろんグランプリは嬉しいですが、何よりも練習通りにできること、感動していただける演奏を目指せる自分になれたことに満足しています。

今市中学校吹奏楽部では「響け！心に…。とどけ！魂に…。」を合い言葉に活動しています。卒業を控え、私は今改めてこの言葉をかみしめています。私は、これからも音楽を続けます。お世話になった先生方、応援してくれた家族に感謝しながら、最高の音楽を目指したいと思います。



## 第10回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストの参加者の感想

### 「第10回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

宇都宮工業高校音楽部 2年 栗原 詩織(マリンバ)

2月26日(日)池袋にある東京音楽大学で行われた第10回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに、県の代表として参加させていただきました。

当日は、集合時間が午後だったので9時に宇都宮を出発しましたが、2時間ほどで会場まで到着

し、かなり余裕をもって準備をすることができました。丁寧に楽器を組み立て、打楽器のために用意された場所で、少し練習をしました。本大会では、打楽器も伴奏合わせのリハーサルが行えたので、伴奏者の方と最終確認をしながら、密度の高い練習をすることができました。

本番前はとても緊張して、自分が驚くほどに手が震えてしまいました。「練習通りにできるか」「上手く音楽を表現できるか」「音をはずさずに演奏できるか」など、色々なことを考えてしまい、本番で集中して演奏できるのか不安になってしまいました。しかし、係の方々が緊張を和らげる方法や東京音楽大学の話など、色々な話をして下さり、リラックスして本番を迎えることができました。

本番、ステージの上に立ち、お辞儀をして顔をあげた瞬間、客席には多くの人がいて、足がすくみました。伴奏者の方に合図をしようと振り返ると、伴奏者の方はいつもと同じ笑顔でこちらを見て下さっていたので、安心して演奏を始めることができました。「上手くやろう」ではなく、「練習通り楽しんで演奏しよう」と思いました。会場となったJスタジオは、大変よく響くホールで、ピアノとの掛け合いも楽しむことができました。本番は少しうまくいくことが出来ましたが、今自分にできる最高の演奏ができたと思います。全国大会には進めませんでしたが、この経験を活かして、次につなげたいと思っています。



### 栃木県吹奏楽講習会報告・参加者の感想

#### 「平成23年度 栃木県吹奏楽講習会報告」

研修部部長 岩原篤男

昨年3月に予定していた栃木県吹奏楽講習会が3.11東日本大震災のため中止となり、関係者並びに県吹奏楽連盟会員の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。今年度は、当時計画していた内容を基に企画を再検討し、柏高校などと再度交渉し実施に漕ぎ付け、無事終了いたしました。関係者並びにこの事業の運営に携わった皆様に感謝申し上げます。

今回の栃木県吹奏楽講習会について、実施した内容を報告させていただきます。

平成24年2月11日(土)・12日(日)に宇都宮市文化会館で、実技講習会を開催しました。モデルバンドは、県内中学校と高等学校より希望者を募り、中高混合の80名ずつからなるA・B班2グループを編成しました。今年は、千葉県より全国的に有名な柏市立柏高校吹奏楽部の皆さんと同校音楽総監督の石田修一先生をご招待しました。石田先生のご指導のもと日常の練習方法・特別パート練習・楽曲練習の仕方を、本県A・B班2グループと柏高校との合奏を通して直接学びました。



柏市立柏高校吹奏楽部  
音楽総監督の石田修一先生

柏高校の皆さんには、朝8時半には会場の宇都宮市文化会館にお越しいただき、本県のモデルバンドと共に準備から始まり同じ活動に参加していただきました。最初は、初めての顔合わせとあってぎこちなさがありましたが、楽器を持ち活動が始まると柏高校の生徒さんのリードとスムーズな進行で時間があっという間に過ぎてしまいました。午後の柏高校のリハーサルでは、秒単位の動きに圧倒され、演奏の内容では完成度の高いいろいろなジャンルの作品を紹介していただけたと思います。今回本県内の演奏会では見られないステージを直に拝見でき、生徒たちは非常に感激しておりました。

中学生のモデルバンド参加者は2日間通いの講習でしたが、柏高校生や本県の高校生たちとの合奏や行動の過程で得るものが多くあったと思います。また宿泊を柏高校生と共にした本県の高校

演奏に会場からは絶え間ない拍手が続きました。全て終了後、参加者のモデルバンド生徒同士、そして柏高校生たちと名残惜しいようでした。

モデルバンド以外の生徒や一般者対象の自由に講習会場を選択できるこの講習会(2/12)は、宇都宮市文化会館全館を使用し、それぞれのテーマにそった講習が行われました。大ホールでは、**本県の中学校・高校モデルバンドと柏高校によるリハーサルを一般公開と発表**が中心でした。小ホールでは、山本洋志(Cl)先生による木管楽器合奏の講習で特にクラリネットを中心(例えば、リードやマウスピースの選び方)。第1会議室では、久保義一(Tp)先生による金管楽器合奏の講習で特に金管アンサンブルなど。第2会議室では、前田綾子(Fl)先生のフルート講習。第1練習室では、上野信一(Perc)先生の打楽器講習。第2練習室では、大田原小学校30名をモデルバンドとして浅野正樹(水戸市教育委員会指導主事)先生による小学校バンド指導法などと多彩な講習が行われました。各会場熱の入った講習で質問なども多く出て充実していました。また、各会場には、各楽器が展示され試奏もできたため、そこには人だかりができておりました。1Fロビーでは、吹奏楽譜や教則本、CD・DVDの展示などが行われ、ここでは、特に先生方が自由曲の作品調べに時間を費やしておられました。

反省点としては、皆様方への講習会の内容や案内が大変遅くなってしまったこと。今後できるだけ早く講師や講習内容を公表できるよう努力したいと思います。次年度以降も、多くの参加者に充実した内容になるよう改善していくたいと考えています。是非、多くのご意見等いただけたら幸いです。



久保義一(Tp)先生



水戸市教育委員会指導主事の  
浅野正樹先生

## 「栃木県講習会に参加して」

真岡市立真岡西中学校 2年 竹澤 翔摩(アルトサクソフォン)

栃木県吹奏楽講習会があると知った時、自分は参加するかどうか、とても悩みました。なぜなら自分は足が不自由で、ゆっくり歩行することしかできず、階段の上り下りが困難だったり、車いすを使用したりと、様々な問題があるからです。私がアルトサックスを始めたきっかけは、運動することができない私に、「何か特技や打ち込める物があった方がいいね。」という両親のすすめもあり、家族で話し合いました。そして、音楽なら自分でも他の人達と一緒にできると思い、始めました。

講習会に参加することで、沢山の不安がありましたが、柏高校の皆さんと演奏したいという気持ちが次第に強くなっていき、講習会への参加を決めました。講習会当日は、一番不安に感じていた移動が多く、次の会場に到着できないというアクシデントが起きました。その時、柏高校生が自分のために練習場所を決め、私一人のために指導して下さいました。移動の様子や車いすでの姿を見て、とっさに判断し、対応して下さったのです。その時、自分はとても幸せだと感じました。

今回の講習会では、柏高校の皆さん、一人一人の技術と演奏が素晴らしいことは、言うまでもありませんが、それよりも、生徒の皆さんとの姿から、優しい心配りや素早く判断し進んで行動することの大切さを学びました。この講習会で、私自身も演奏技術と人間性も成長することができました。講習会に参加させていた

だき本当に良かったと思います。ありがとうございました。



## 「栃木県吹奏楽講習会を終えて」

モデルバンドA リーダー

栃木県立栃木翔南高等学校 2年 采井 薫(パーカッション)

この講習会に栃木翔南高校から5名参加させていただきました。たいへん実りある講習会で、たくさんのこと学びました。そして、柏高校の皆さんやご指導してくださった先生方、全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。柏高校の皆さんのお演奏を身近に聴き、一緒に演奏することができて、たいへん価値のある体験となりました。それだけではなく、県内の他校の方々とも一緒に練習し、交流を深めることができ、たいへん勉強になりました。

1日目は初めに結団式がありました。その時は会場が緊張に包まれていました。全国屈指の強豪校と対面するということで嬉しさと不安とが混ざっていたように思います。しかし、一緒に過ごしているうちに、同じ高校生で、親しみやすいなと思いました。それなのにこの差はなんだろうと思い、私なりに出した結論は、音楽に対する気持ちや意識の違いです。柏高校の皆さん全員が、吹奏楽が真剣に大好きで、何をするにも妥協をしないで追求する姿勢がありました。

さまざまなことを経験しながら1日目を終えると、2日目はあっという間で、すぐに最後の演奏会になってしまいました。会場には、たくさんのお客様がいらしてくださり、演奏する私達もこの空間に感動しました。音楽はやはり演奏する側と聴く側と一緒に創り上げるものなのだなと思いました。

この講習会で得たものは私達にとって感動体験そのものです。今後は、この感動と経験を部員と共有し、全員でクオリティの高い音楽、そして心に響く音楽を目指していきたいと思います。本当にありがとうございました。

## 「リーダー講習会を終えて」

モデルバンド Bリーダー

作新学院高等学校 2年 木村 晃子(クラリネット)

先日行われた栃木県リーダー講習会に、作新学院吹奏楽部からは私を含めた8人のメンバーが参加しました。市立柏高校吹奏楽部の皆さんをゲストとして迎え、顧問の石田修一先生のご指導のもと、二日間という短い時間でしたが、沢山のことを学ばせて頂きました。全国トップレベルのバンドとの合同演奏ということだったので、同じ高校生とはいっても、初めはとても緊張しました。ところが、同じ時間を過ごしているうちに、次第に緊張は解けていきました。また、私は栃木県選抜モデルバンドのBバンドのリーダーを務めさせて頂きました。不安もありましたが、県内の中高生の皆さんとも交流を深めることができ、とても良い経験になりました。

そして最終日、合計200人を超える大人数での演奏は、ホール全体に響き渡り、演奏している私自身もとても感動しました。二日間の短い練習期間でしたが、とても素晴らしいステージになり、参加して本当に良かったなと感じました。

昨年度は東日本大震災の影響で、講習会は中止になってしまいました。それを思うと、今年度、この様に講習会に参加するこが出来た私達は本当に幸せなんだということを実感しました。

私達はこれからも、それぞれの目標に向かって歩いていくと思います。そんなとき、楽器が演奏できる、吹奏楽ができる、その様な環境があることに感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいと思います。

今回はこの様な素晴らしい講習会を開催して頂き、本当にありがとうございました。



# 「吹奏楽講習会～気持ちとサウンド」

県立茂木高等学校 2年 豊田 尚史(フルート)

はじめに、このような大変貴重な講習会を開催して下さった栃木県吹奏楽連盟、指導して下さった柏高校吹奏楽部顧問の石田修一先生、柏高校吹奏楽部の皆さんに御礼を申し上げたいです。この講習会は、石田先生の言葉のように、まさに「一期一会」でした。僕は、音楽を通してこの言葉をこれほど深く感じたことはありません。、もっと石田先生の指導を受けたい、あの時のメンバーで演奏したいという気持ちが強くなりました。その気持ちが強いほど、あの一回限りの本番はとても貴重で深いメモリーとなって心に残ることと思います。

はじめは、みんなどういう音をしているのだろうという楽しみな気持ちがありました。一方、みんなと仲良くやっていけるか、演奏面で迷惑をかけてしまわないかという不安もありました。しかし、パートで集まつてみるとその不安は一瞬にして消え去りました。そこで改めて、栃木は良い、こういう経験はなくてはならないと感じました。もちろん、市柏のメンバーもとてもいい人たちばかりで、講習会が楽しくなり、それを演奏に現わすことができました。市柏のみんなはびっくりするぐらい元気で明るくて、とにかく驚きました。それが演奏に反映され、パワフルな、まとまり感のあるサウンドが奏でられるのだと思います。後で市柏のメンバーが言っていたのですが、練習している時の集中と、それ以外のメリハリは無意識なのだそうです。僕はとても感心してしまいました。これは石田先生、他顧問の先生方の日々のご指導の力であり、自然と受け継がれてきた「意識の伝統」のおかげだと思います。これは簡単なことだけれども、とても大切なことであり、明日から自分自身も持たなくてはならないことだと思いました。

合奏前の練習でも印象に残ったことは、ディレクターでの奏法チェックは一人十秒。時間を有効に使うことの大切さを考えさせられ、良い音、良い音楽の裏には練習に対する意識の強さがあったのです。

石田先生の指導は、時間を大切に使った内容の濃い練習と説明が印象的でした。音量が小さいところは、より小さく、音量コントロールも計画性を持ってやるなど、中途半端にやらないのが印象的でした。それは、音を出す前のブレスから始まり、ブレスのテンポ、息のスピードまで丁寧に教えてくれました。最初は機械的に感じてしましましたが、まとまって音楽を作るということはそういう細かい意識と作業がなければ成り立たないと思いました。その細かい積み重ねが、本番を終えると大きな充実感と達成感を感じることができました。この達成感と充実感をまた新たに感じることはできるのでしょうか。その答えは日々の細かい練習と神経を使った音出しで決まると思います。講習会での石田先生の指導は、新しい意識を芽生えさせてくれました。

今回の講習会では、「人間性、特色、気持ち、テンションはすべて音楽、音に影響してくるものだ」ということを確信しました。僕は以前から、音を出す前にモチベーションを上げることを大切にしてきましたが、それが間違えではなかったことを肌で感じることができたことをとても嬉しく思います。

それから、みんなで集まつて合奏して、作り上げるサウンドの大切さ。日ごろ何気なく合奏していても、本物のサウンドを作り上げるのがどれだけ細かくて大変なことが、良くわかりました。サウンドには、やることも細かければ、影響しているものも細かいことばかりだと感じることができたので、それを上手くコントロールして今後のサウンド作りに生かしていきたいと思います。

もうあのメンバーでサウンドを作ることはできなくて非常に残念ですが、得てきたものは少しでも練習に取り入れていきたいと思います。今後は、あの時みたいな達成感と充実感を感じができるように学生指揮者としてサウンドを作っていくたいと思います。





## 4 栃木県吹奏楽連盟事務局の皆さんいつもありがとうございます

### 「いつも何かと連盟のお膳立てをしてくれている事務局に感謝の意味をこめて…」

私たち加盟団体はいつもコンクールなどの大会に参加していますが、その大会を開催するには事務局の方々の並々ならぬ苦労があって大会が運営されていることをご存じだろうか。通常は月に2~3回の木曜日の19時頃から時には日付が変わるまで食事もせずに綿密な打ち合わせや、準備作業に時間を費やします。また、各大会の直前は連日のように事務局に集まり、詰めの作業を遅くまで取り組んでくれています。そして今、まさに年度末で、会計決算・新年度予算の作成に連日事務局に集まり、遅くまで作業に追われている時期です。

このように日頃ご苦労されている事務局の皆さんのが戦苦闘ぶりを紹介したいと思っていましたので、今回紙面を割くことにさせていただきました。もし、これをお読みになり、少しでも事務局の周到なる準備があつてこそ、我々加盟団体が大会等にスムーズに出場できているんだと理解していただき、時には、事務局を訪れ、激励していただければ幸いです。

事務局の苦労話を吹奏楽コンクールを例にお話しさることにします。

各団体の皆さんにはコンクールに出場する際に、課題曲・自由曲の決定にまず思い悩み、メンバーの構成をどうするかに頭を痛め、締め切りに間に合わせることで頭がいっぱいのことだと思います。しかし、事務局の苦労はその比ではありません。

締め切り日直後の事務局会は申込書の確認作業から始まります。事務局の前寺さんがすでに送られてきた申込書を部門別に仕分けして開封したものを、指定通りの書類があるかどうかの点検から始めます。申し込みのあったおよそ200通の書類には必ず不備があり、その度に確認の連絡を入れます。(時には申し込み忘が…)

実施要項を作成し、警備会社に手配し、チケットを各出場団体分に封入し送付し、出場者用のリボンを用意し、順番を決めるためのくじを予備抽選用と本抽選用の2種類用意し、掲示物を用意し、…事前の事務局会での準備はまさに多忙を極めます。

また、とりわけ大変なのが大会の前日です(ぜひ、皆さんその現場を見てみてください)。大会で使用する全ての物品(ワゴン車2台分にもなります)を事務局から運び出し、事務局の先生の車で運搬し、それぞれの係ごとに配置します。そして、それらの物品を取り出し、係ごとに準備に入ります。例えば、大会に必要な掲示物を楽器置き場である展示室に出演団体名の掲示をしたり、演奏中の出入りを禁止するなどの各種掲示物を各所に貼り、受付の設営をし、舞台上に必要な椅子・譜面台・ピアノなどを地下の倉庫から舞台に迫り舞台で運び上げ、舞台上のセッティングをし、3つのリハーサル室の椅子を並べ、ハーモニーディレクター・アンプをセットし、審査員が休憩するホワイエに椅子やテーブルをセットし、録音やDVD収録の業者の仕込み、ピアノの調律の確認をします。もちろんそれらが終わるまで帰れません。通常18時から始めて、21時頃までかかります。

大会当日も大会後の片付けや点検で遅くまで拘束されます。特に大会の最終日には、全てを元通りに復元しなければならないので大変です。全て運び込んだ荷物を事務局へ戻すことはもちろん、椅子・譜面台・ピアノなどを地下の倉庫に格納し、リハーサル室などを復元し、会計の担当者は、大会中の仮決算ができるまで処理します。この日も21時頃までかかります。

実は大会の準備は開催予定日の1年以上前から動き出しています。会場は開催予定日の1年前の月初めに予約します。ただ、大会には会館のほとんどの施設を利用するため、それぞれの申込用紙に記入しなければならず、記入する枚数が多く、記入するだけでも大変な労力です。

審査員についてはリストアップと常任理事の投票を経て仮決定し、直接交渉(コンクール部長の森下副理事長があたります)全員が決まるまでには相当な日数が必要です。なぜなら、大会は他県でもほぼ同時期に実施されますから、依頼しても必ずしも引き受けてくれるとは限らないからです。

以上簡単にですが、事務局の多忙さの一端を紹介しましたが、事務局の苦労が少しでもおわかりいただけたら幸いです。

(文責H. M)



## コンサート情報

### 小山城南高校吹奏楽部演奏会

平成24年3月31日(土) 14時00分開演 小山市文化センター・大ホール 入場無料

演奏曲目: アルメニアン・ダンス・パートⅠ, ステージ・ドリル, 宇宙戦艦ヤマト 他

### 第1回 国本中学校吹奏楽部定期演奏会

平成24年3月31日(土) 14時30分開演 国本地区市民センター 入場無料

演奏曲目: バレエ組曲「ガイース」より, ライオン・キング, 美空ひばりメドレー 他

### 第4回宇都宮南高校吹奏楽部定期演奏会

平成24年4月21日(土) 14時開演 宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料

演奏曲目: 江原大介作曲「追憶」, 君の瞳に恋してる, 2012全日本吹奏楽コンクール課題曲より 他

### 第26回宇都宮北高校吹奏楽部定期演奏会

平成24年5月4日(木・祝) 13時30分開演 宇都宮市文化会館・大ホール

入場料 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)

演奏曲目: バレエ「くるみ割り人形」より 他

### 作新学院高校吹奏楽部 フレッシュ・グリーンコンサート with 東京農業大学第二高等学校吹奏楽部

平成24年5月6日(日) 14時00分開演予定 宇都宮市文化会館・大ホール

入場料 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)

演奏曲目: 2012全日本吹奏楽コンクール課題曲, 2012ニュー・サウンズ・イン・プラス,

ゲスト: 群馬県東京農業大学第二高等学校吹奏楽部 ステージドリルショー

問い合わせ先 吹奏楽部 090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~19時

### 第47回真岡高校吹奏楽部定期演奏会

平成24年6月17日(日) 14時開演 芳賀町民会館 入場無料

演奏曲目: 喜歌劇「美しきガラティア」, シェルトン作曲「メトロプレックス」他

### 第6回茂木高校音楽部定期演奏会

平成24年6月24日(日) 14時開演 芳賀町民会館 入場無料

演奏曲目: 2012全日本吹奏楽コンクール課題曲, ハンガリー民謡「くじゃくによる変奏曲」より 他

## 編集後記



栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之(作新学院高校)

東日本大震災から早いもので、一年が経ちました。いろいろな思いで3月11日を迎えたのではないでしょか。しかしながら、いまだ生々しい惨状を見せる福島第1原子力発電所をはじめ、被災地の復興には、まだまだ長い道のりが必要です。自分のふるさとに帰ることが叶わず、不自由な慣れない生活を強いられている方たちが大勢います。吹奏楽の活動も以前のようにはいかないのが現状です。ただただ、早い復興を祈るばかりです。

我々にできることを支援しようということで、大会の時に募金箱を設置したところ、多くの方々から賛同を頂き、多くの義援金を被災地に送り届けることができました。理事長の挨拶にもあるとおり、支援に対する感謝のお礼状が福島県吹奏楽連盟より届いています。「すいそう太郎」でも報告をさせていただいたわけです。

震災直後に宇都宮市の避難所に被災した方たちが滞在していましたが、そのうちの二カ所に私は部員を連れて慰問の演奏に出かけました。むしろ、生きる勇気をもらったのは私たちの方でした。ただ感謝です。

さて、多くの団体では、新体制がスタートし、時間の経過とともに体制作りが順調に進み、新年度の大会に向けて練習に励んでいることと思います。まもなく新年度が始まり、新しいメンバーが加入し、活動に活気が出てくる時期が近づいてきました。今年もがんばりましょう。

今号では、縁の下の力持ち「事務局」の紹介もさせていただきましたが、事務局あっての栃木県吹奏楽連盟だと少しでもご理解いただけたら幸いです。

また、広報誌に対する要望・意見・感想などお待ちしています。是非お寄せください。